◇ケアプラン点検の実施について

介護給付適正化の推進に向けて、ケアプランが利用者の自立支援に向けた適正な計画となっているかケアプラン点検を実施し、介護支援専門員への助言や指導等を行っています。

今までのケアプラン点検の実施に基づき、多くみられた指摘事項は以下のとおりですので、ケアプラン作成の際はご留意くださいますようお願いします。

（参考）：介護保険最新情報 vol.1286 および介護保険最新情報 vol.1362

◇指摘事項について

～介護給付適正化の推進に向けた重要ポイント～

指摘事項　1

ケアマネージャーからみた現在の日常生活自立度（障害・認知症）についても記載してください。

✓認定調査票の結果だけでなく、ケアマネジャーの専門的な観点からの自立度評価が必要

指摘事項　2

課題分析標準項目に従ってアセスメントを行い、本人の状態がわかるように記載してください。

✓　認定調査票の転記を主とせずに、ケアマネージャーの判断で記載
✓　その介護サービスを利用する必要性・根拠が読み取れるような記載が必須

指摘事項　3

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）は抽象的な表現ではなく、その人らしさが読み取れるように、具体的な記載を行うようにしてください。

○ 良い例

「毎朝、自分で着替えたいが、関節痛のため衣類の着脱が困難」「週 2 回の通院に向けて、安全に移動したい」

✓ ニーズ設定の流れについて

具体的なニーズ設定 → 長期目標（3～6 ヶ月） → 短期目標（1～3 ヶ月）

✓サービス利用を目的とするのではなく、生活行為ベースで考えることが重要

指摘事項　4

本人の役割を位置づけることで、意識づけや意欲につながるため、本人が頑張っているセルフケアをケアプランに盛り込んでください。

✓ 利用者が主体的に取り組める活動を明記する
✓「〇〇さんは毎朝、自分で～する」などの表現で意欲向上を促す

指摘事項　５

ケアプランと個別の介護計画書におけるサービス内容の食い違いがないよう注意してください。

事業所から介護計画書を受け取った際の確認事項
- ✓サービス内容が一致しているか
- ✓利用回数が一致しているか
- ✓利用時間が一致しているか

指摘事項　６

有料老人ホーム等入居の場合は、入居した経緯（本人が希望したかどうかなど）を把握して、記載してください。

- ✓　有料老人ホーム等が提供しているサービスもケアプランに入れる
- ✓　支援内容の全体像がわかるケアプランを作成する